

職場環境 改善を

議案第78号条例の 制定について

【質問】 特別職の給与改正の根拠は何か。副市長の3ヶ月減給の根拠は。

【答弁】 今回の改正はケースバイケースで決定をした。副市長は当時収入役であり、管理者の立場から10%・3ヶ月の減給とした。

【質問】 市に多大な迷惑を掛けた点での市の負担額はどのくらいなのか。時間外手当は支給しているのか。

【答弁】 市の負担額は調査

していない。時間外手当は予算内で支給しているが、職責と使命感での勤務であった。予算外の時間外手当は支給していない。

【質問】 不正防止の為、今後導入予定の会計システムは市民の負担に繋がるが、不正操作当事者に対して刑事告発は。

【答弁】 告発しないと言う事ではなく内部議論の結果、実名を公表し社会的制裁を受けている事等を鑑みて刑事告発をしない。

常任委員会等の活動

- 産業建設常任委員会（8月5日開催）
 - ・産業振興課の主要事業及び企業立地について
 - ・遠野市農業活性化本部（アスト）の取組みについて
- 教育民生常任委員会（8月7日開催）
 - ・第4次老人福祉計画及び第4期介護保険事業計画の策定について
 - ・高齢者・障がい者等見守り体制の構築について
 - ・遠野市社会福祉協議会平成19年度決算状況及び地域福祉活動計画について
- 総務常任委員会（9月4日開催）
 - ・地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく当市の財政健全化判断比率について

教育民生常任委員会行政視察報告

7月22（火）～23（水）の2日間で、2箇所の行政視察を行った。1日目は、遠野市においても平成26年度から広域的なゴミ処理をする予定になっていることに関わって山形県新庄市の「食品トレーリサイクル」の現状を視察した。この心身障がい者小規模作業所では、家庭ゴミの減量化、資源回収の取り組みがなされている。現在ほとんどが焼却処理されている使用済み食品トレーを再生してリサイクルをする仕組みであり、トレー自体は非常に軽いものだが、トレーの数が半端でなく、作業所内が使用済みトレーの山となっており、これには非常に驚かされた。これは㈱ヨコタ東北という事業者が開発したペレットの製造や、リサイクルをする機械により可能となった事業であった。

2日目は、昨今当市でも議論が激化している中学校再編に関わって福島県郡山市湖南小中学校を視察した。ここでは5つの小学校を統合し、中学校と一体的に整備すると共に「小中一貫教育」が全国的に先駆けて実践されている。「日本一の学校を創りたい」をコンセプトに建設された学校である。

統合までに至る苦労話や、地域のエゴとの戦い、教職員の教育、教育構想などの説明を受けた。しかし建設がいったん決まれば地域の協力や木材の提供、送迎バスへのボランティアなど、地区民の学校教育に参画するすばらしい姿勢が生まれたという。

「湖南小中学校」の教育目標は「ともに生き 未来を創るたくましい湖南の子」であり小中9年間を一貫させたすばらしい教育活動を実践していた。

（照井 文雄 副委員長）



▲食品トレーリサイクルの作業現場を熱心に視察